

## 日本倫理・哲学グランプリ 2024

### 【課題】

次の4つの課題文のうちから1つを選択し、後の「哲学エッセイを書くにあたって」を参考にしつつ、エッセイを書きなさい。

- ① 知識を学ばず獲得していない者は、正しいことで成功することもできず、また、成功しているかどうか判断することもできない。

プルタルコス『モラリア』

- ② 未来というものがどんな現実の新しさをふくんでいようと、もともとそれぞれの瞬間の独自性と個別性が未来を新しくするのだから、未来を概念的に処理すれば、その新しさをまったくとりにがしてしまう。

ウィリアム・ジェイムズ『哲学の根本問題』

- ③ よい歌をよもうと思えば、言葉をえらぶ以外に何ができるだろうか。歌のよしあしが決まるのは、だいたい言葉であって、情ではない。なぜなら、情が浅くてもよい歌は多いが、言葉が悪くて、しかもよい歌というのは、かつてあったためしがなからである。

本居宣長『排蘆小船』

- ④ 「環境破壊や戦争、格差の拡大など、地球の未来に希望はもてない。だから子どもは作るべきではない」という考え方についてどのように考えるか。

## 哲学エッセイを書くにあたって

哲学エッセイは、学校でよく課題に出るいわゆる「生活作文」（生活の中で体験したことについて自分が感じたこと、考えたことを書くもの）ではありません。そうではなく、ある問題やテーマに関して、自分なりに問いを立て、様々な角度から考察し、筋道立てて書くものです。評価のさいには以下のような点が重視されます。

- ・ 選んだ課題文に含まれるテーマや問題とどれくらい向き合っているか。
- ・ そのテーマや問題についてどれくらい深く考え、理解しているか。
- ・ 自ら問いを設定し、それに答えるべく論じ、結論を出しているか。
- ・ 主張や意見を述べるさい、なぜそう言えるのか、明確な理由を挙げているか。
- ・ 具体的で分かりやすく、説得力のある首尾一貫した論述になっているか。
- ・ 反対の立場も検討しつつ、自分の立場をはっきりさせて論じているか。
- ・ 自分なりの論点や考えを含んだエッセイになっているか。

こんなことを言われても、実際にはどうすればいいのか分からないかもしれませんし、これらのポイントをすべて満たすなんて無理でしょう。でも、書きながら迷い、悩んでください。それでもチャレンジするのが大事です。